



市議会議員だより

2期 Vol.1

たたら純一 活動報告

純ちゃん



三世代が安心して暮らせる街づくり

日頃より議員活動への御支援、御理解を頂き誠に有難う御座います。

2019年統一地方選挙に於きましては多くの方より御支持を頂き、誠にありがとうございました。2期目もこれまで以上にしっかり活動し、かたちを残せる様に頑張りたいと思います。

2期最初の6月議会、一般質問については、登下校時の安全確保や小中学校のプール授業についてなどを訴えました。これからも市政に対し粘り強く訴え、子育て世代の負担低減や地域医療など、「夢をかたち」に出来るよう市政へのパイプ役として精一杯頑張りたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

・議会報告!抜粋

令和元年度宇佐市一般会計補正予算(第1号)案

補正額は321,700千円の増額で累計予算額35,211,700千円

6月定例会は6月4日に開会し、市長から提案された令和元年度宇佐市一般会計補正予算など18議案を審議し、可決致しました。その中の令和元年度宇佐市一般会計補正予算(第1号)については補正予算案の国県補助金、追加内示に伴い道路・橋よう整備事業や農業振興関連事業の追加及び増額を行うとともに、消費税率の引上げに伴う介護保険料の軽減強化対策として繰越金を増額するほか、路線バスの廃止及び減便対策としてコミュニティバスの増便やダイヤ改正に係る経費などを追加。又、新規事業として高校生の語学力向上を目的とした補助事業の追加するほか、豊川小学校の児童増加を見据えた仮設校舎の設置に係るリース料について債務負担行為を計上しています。その他詳細は議会報を御覧下さい。

変更 <公共交通について>

路線バスの廃止及び減便対策

(コミュニティバスの増便やダイヤの改正)

- ◎6路線の廃止・2路線の減便
- ◎復路(帰りの便)を1便増加・院内地域路線の延長
- ◎安心院・亀川線の沿線地域は安心院地域のみを運行する路線を新設。今後も継続して市外医療機関での受診が必要な方には通院経費の一部を補助する。
- ◎遠距離通学補助事業(バス定期代補助)の対象者に対し、スクールバス運行を新たに行う。



新規 <高校生学力向上>

英語資格・検定試験補助の検定料を補助

- ◎補助対象者
 - 宇佐市内4高校(宇佐、産業科学、安心院、柳ヶ浦)に在籍している全学年の生徒
- ◎実用英語技能検定及びGTEC等で一定以上の基準を満たした生徒
- ※英検2級以上の合格相当スコアを今年度以降、新たに取得した生徒
- ◎補助対象金額
 - 検定及びGTEC等の検定料
 - 2/3の経費(千円未満切捨て)
 - 1人付き2回を限度



・請願・意見書!



◎産業建設常任委員会

・安心院支所周辺に公園の設置を求める請願書 紹介議員 新開議員



・大分自動車道及び東九州自動車道の濃霧対策に関する意見書 提出者 委員長多田羅純一



◎文教福祉常任委員会

・「少人数学級実現」、「義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充」を求める意見書採択の請願書 紹介議員 新開議員、若山議員、浜永議員、大隈議員



◎総務常任委員会

- ・「2019年10月から消費税増税10%引上げ中止を求める意見書」を国に提出を求める請願書 **可決**
- 紹介議員 中村議員、赤野議員
- ・新たな過疎対策法の制定に関する意見書 提出者 委員長 新開議員 **可決**

<6月一般質問概要>

子どもの安全対策は



I・小中学校、登下校時の交通事故対策について

① 市内通学路における危険箇所は何件把握しているか

<答弁> 昨年迄に提出された学校からの要望箇所の市の管轄は296件です。

② ドライブレコーダー「動く防犯カメラ」の更なる普及促進はできないか

<答弁> 交通事故やトラブル発生時における責任の明確化及び安全意識や運転マナーの向上、また犯罪の解決に向けても有効な手段の一つであり、安全運転教室等で周知を努める

③ ブレーキとアクセルを踏み間違える事故も後を絶たない、急発を進防止装置等の補助は出来ないか

<答弁> 全国的な動向を含めて調査・研究していく。

II・小中学校のプール授業について

① 昨年度、熱中症対策として多くのプール授業や夏休み期間のプールが中止されたと聞かすが、中止になる判断基準と中止された件数について伺う

<答弁> プールの水温が34℃を超えた場合に中止をする様通知している。
プール授業の中止が1件、夏休み期間の中止は69件です。



② 本年度はどの様な熱中症対策を検討されているのか

<答弁> 水温が高い場合は活動前の適切な水分補給、休憩、複数による監視体制、日よけ場所の確保等の徹底を図り熱中症事故の予防に努めていく。

③ 熱中症対策をした場合、改善費用は負担できないか

<答弁> 地域や保護者等とともに自主的・積極的に「足とアイデア」を駆使して環境整備活動を行う場合に学校施設環境整備活動支援事業を活用し改善費用の一部を負担する事は可能です。

III・和間海浜公園の潮干狩りについて

① 観光事業として今時点での評価はどの様に捉えているか

<答弁> 来場者が多い日などは一時的にトイレが不足するなどの課題があった

② 「アサリが全然採れない」と不満の声を多く聞く、お客様満足度を向上させる方策はどの様に検討されているか

<答弁> 放流方法の改善など協議しながら対策を講じていく。



IV・津波避難タワーについて 1 高齢者が避難しやすい環境を整備すべきと考えるがどうか

① 海岸付近の地区に高台や津波避難タワーの設置は検討できないか

<答弁> 本市の南海トラフ地震の津波想定は約3時間後に最大2.75mの津波が到達すると想定されており、県南地域に比べ到達する時間に余裕がある事や高さが低いこと、建設費用の面から既存施設での活用で対応して行きたいと考えている。

V・住民票・印鑑証明コンビニ交付事業について

① マイナンバーカードの普及率が県下でもワースト2位となっている今後、どの様に普及促進を行うのか又、マイナンバーカード利用のメリットを増やし、普及に繋げないか

<答弁> 本市としても普及向上に向けた対策を講じていかなければならず、マイナンバーカードの利便性と申請方法の説明チラシの各世帯配布、市ホームページ掲載や市報に特集記事の掲載等で周知活動に努める。

② 窓口で証明写真が撮れば手続きが容易で安価になるが検討出来ないか

<答弁> 他市町村の取り組みを調査研究していく。